

第1回臨時会(2月4日)

■「第5次津別町総合計画」
12月29日、原田総合計画策定審議会会長から最終答申書が提出されました。平成20年7月1日から、町民50人からなる審議委員の皆さんが17回にわたる審議をつくされました。



ご尽力いただきました審議委員等の関係者の皆様にお礼申し上げますとともに、まちづくり全般にわたる貴重なご意見を今後の町政運営に活かしていきたいと考えているところであります。

■寄附

12月24日、幸町 西澤伸夫様より、町民の森自然公園周辺整備、特にクリン草の一層の整備に役立てて欲しいと、

30万円のご寄附をいただいたところであります。

ご厚志に深く感謝申し上げますとともに、ご趣旨に沿って有益に使用させていただきます。

■北海道社会貢献賞交通安全功労賞の受賞
平成21年度北海道社会貢献賞について、旭町 金田幸一様

様が町交通指導員を務められた実績と交通安全推進に対する長年のご功績が認められ、交通安全功労者として北海道知事より表彰されました。

永年のご功績に対し深く感謝申し上げますとともに、この度の栄えある受賞に対し心より敬意を表し、今後の活躍をご祈念するものであります。

■成人式

1月10日、中央公民館に



おいて、町内・町外合わせて54人(男27人・女27人)の新成人と多くの来賓の方々をお迎えして挙行いたしました。

式典では、新成人から希望に燃える力強い「成人の誓い」が述べられ、厳粛の中にも和やかに式典を終えることができました。

◎その他報告された事項

■バントワリング選手権大会 ■全道リコーダーコンテストの結果 ■第14回

カレンダー展示即売会 ■アンサンブルコンクールの結果 ■ソフトテニス大会 ■スポーツ合宿誘致活動

第2回定例会(3月10日)

■全国麦作共励会

全国米麦改良協会と全国農業協同組合中央会が主催する、2009年度全国麦作共励会の個人の部において、豊永 高橋和男様が、農林水産大臣賞を受賞されました。

日頃からの、土づくりの励行と経営コスト低減による良質小麦生産の取り組みが高く評価されたことに対し、深く敬意を表するところです。

■有機農業公開セミナーの開

催 2月24日、NPO法人有機



農業技術会議(長野県)主催と津別町有機農業推進協議会・津別町・津別町農業協同組合が共催し、セミナーが中央公民館で開催され、網走管内を中心に道内外から180人が参加されました。

セミナーでは、有機農業の取り組み状況が報告され、基調講演では元北海道副知事で酪農学園大学の麻田信二理事長が、環境に負荷を与えない持続可能な農業を確立するには、土づくりが基本であると話され、続くパネルディスカッションでは、参加者との意見交換が行われたところです。

■津別町森の健康館及び山村体験宿泊施設の愛称

長い間親しまれてきました「ホテルフォレスト」に変わる愛称として、新たな指定管理者であります株式会社ア

ンピックスにおいて十分検討を行った結果、「清流と森爛漫の奥屈斜路温泉・ランブの宿 森つべつ」と決定した旨の連絡がありました。指定管理者においては、4月オープンに向けて諸準備が鋭意進められているところであります。



■季節労働者の冬期就労支援
一昨年度より実施しております季節労働者の支援については、今年度も2月3日より町有林の枝打ち作業を3月中旬までの18日間、延べ199人の稼働を予定しております。季節労働者への支援対策につきましては、今後も継続する方向で取り組んでいきます。

◎その他報告された事項

■建設工事等の発注状況

■第33回冬季町民スポーツ大会

総務文教常任委員会

第1回（3月2日）

- ・ 網走支庁管内町村公平委員会委員の選任について
- ・ 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- ・ 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について

委員会活動

各常任委員会・特別委員会は議会の閉会中も委員会を開催し、所管事務について協議しています。

常任委員会 特別委員会

- ・ 教育委員会教育長の給与及び勤務時間に関する条例の一部改正について

地域情報通信基盤推進交付金事業について

北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

北海道市町村総合事務組合規約の変更について

北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

網走支庁管内町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増減及び規約の変更について

第5次津別町総合計画について

森の健康館及び山村体験宿泊施設の設置及び管理に関する条例の一部改正及び同施設の運営について

平成22年度津別町各会計予算原案の概要について

（仮称）津別町多目的活動センターについて

一般廃棄物処理（可燃ごみ）にかかる広域化と費用負担について

税条例の一部改正について

網走地方教育研修センター組合規約の変更について

使用料条例の一部改正について

産業福祉常任委員会

第1回（3月3日）

太陽光発電システム導入支援事業について

町営住宅等の建設について

町道の認定廃止について

新生児誕生祝品支給要綱の制定について

乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部改正について

重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について

平成22年度津別町各会計予算原案の概要について

第5次津別町総合計画について

議会運営委員会

第1回（2月1日）

第1回津別町議会臨時会の運営について

第2回（2月26日）

津別町議会の運営について

第3回（3月5日）

第2回津別町議会定例会の運営について

いて

各種委員の推薦について

第4回（3月10日）

第2回津別町議会定例会の運営について

追加議案の取り扱いについて

第5回（3月12日）

第2回津別町議会定例会の運営について

一般質問について

閉会中の継続調査について

懸案事項促進のための議員の派遣について

意見書の取り扱いについて

第6回（3月17日）

第2回津別町議会定例会の運営について

意見書の取り扱いについて

第7回（3月18日）

第2回津別町議会定例会の運営について

議会広報特別委員会

第6回（4月13日）

議会報132号の編集について

議会日誌

1月

29日 第1回全員協議会

2月

1日 議会運営委員会

4日 第1回津別町議会臨時会
第2回全員協議会

22日 網走支庁管内町村議会議長会
定期総会（斜里町）

26日 議会運営委員会

3月

2日 総務文教常任委員会

3日 産業福祉常任委員会

5日 議会運営委員会

10～19日 第2回津別町議会定例会

10日 議会運営委員会

12日 議会運営委員会

17日 議会運営委員会

18日 議会運営委員会

4月

8日 議会運営委員会

13日 議会広報特別委員会

14～16日 市町村議会議員特別セミナー
（千葉）

意見書

関係行政庁へ
提出しました

食料供給力の確保に必要な農業生産 基盤整備の促進を求める意見書

【要旨】 国は、平成22年度農業関係の予算編成において、戸別所得補償制度のモデル対策費に重点配分する一方で、農業農村整備事業費（土地改良事業費）を大幅に削減しました。今後、地域の要望に即した排水対策や土層改良、区画整理などの農地整備や、農業用水を安定的に確保するなどの農業水利施設の計画的な更新・整備に深刻な影響を与えることとなり、本道農業の生産性が低下していくことは明らかであります。

そしてこのことは、我が国の食糧自給力をさらに低下させるなど国民全体の不利益にもつながるものと危惧する。

今後とも地域農業・農村が持続的に発展し、安全・安心な食料を国民に安定的に供給する役割を担っていくためには、食料供給力の確保に必要な農地や農業水利施設の整備を継続的かつ安定的に実施することが不可欠であります。

よって、農業者からの申請に基づいて進められる、食料供給力の確保に必要な生産基盤整備の促進について、実現が図られるよう強く要望します。

◆提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣
総務大臣、財務大臣、農林水産大臣
北海道知事

平成22年度総合的な酪農畜産 政策に関する意見書

◆提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣
財務大臣、農林水産大臣

はぐるま

— 歯車 —

今年「第5次総合計画」の初年度である。審議会として異例の50人の町民が1年半かけてまとめあげた実行計画である。幸い、国からの景気底上げの臨時交付金で新たに中心街に土地を取得し「舞台」の準備が

始まった。舞台になるまちづくりセンターは今年着工である。この町に久しぶりの活気がよみがえるよう「主役」の町民が演じ続けられるよう祈らずにいられない。

「主役」の代表機関である議会も町民要求に沿った議論を活発に進め情報公開する必要がある。議会をネットを通してほしいとの要望があるが、そうすれば議員の働きぶりや見識が有権者の目にさらされる。栗山町議会では、議員が地域に出て議会報告会や、意見を聞く会等を行い、町民の見る目を高め議員の資質向上を目指している。わが町の議員も経験安住・組織依存を戒め、町民の前に出て要求を聞き反映し、自分たちの議会と認めてもらえる議会を目指すべきでないか。

（茂呂竹）